



# 五木源タイムズ

令和5年6月23日  
五木村立五木東小学校 文責 白樫 明宜

## 思いを言葉に

梅雨の中休み、大変暑い日が続きます。小学校では、「田植え」「プール開き」など教育活動を着実に進めているところです。

コロナ禍において、マスクを着用しての生活が3年ほど続きました。ご存知のように新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことに伴いマスク着用も任意となりました。子どもたちも場面に応じて対応しているようです。給食中も、以前のような会話をしながら会食を楽しむ姿がもどってきました。笑顔があふれる学校生活を送る姿に日常のありがたさを改めて感じているところです。

さて、感情や気持ちを伝えるコミュニケーションをとる際、人はどのような情報から印象を得るのでしょうか。結果からいいますと話の内容（言語情報）からは7%、声の調子、口調（聴覚情報）からは38%、表情（視覚情報）からは55%。これを「3Vの法則（7-38-55のルール）」というのだそうです。コミュニケーションの93%は、目で表情を見たり、耳で声の調子を聞いたりして成り立っているという研究結果です。

マスクをしていても、していなくても、相手をしっかり見て自分の思いをしっかりと言葉にして相手に伝えるということがとても大切です。楽しいこと、驚いたこと、困っていること、授業中わからないこと等々自分の思いををはっきりと言葉にして伝えることを頑張してほしいと、集会活動など様々な場面で表現する活動を取り入れているところです。

## 防災出前講座

6月16日防災出前講座を実施しました。国土交通省九州地方整備局川辺川ダム砂防事務所から8人の技官の皆さんを講師としてお迎えし、防災について詳しく教えていただきました。今までの災害、土砂災害を防ぐ施設、情報を集めることの大切さなどについてお話いただきました。子供たちは、土石流の実験を通して土砂災害が身近な危険であることを感じ、防災の大切さを改めて感じ取っていました。



▲心を伝え合う集会



▲5・6年生 田植え  
園田農林の皆様ご協力ありがとうございました。



▲3・4年生 プール開き



▲5・6年生 プール開き



▲1・2年生 プール開き